

生横濱

信じるのではなく

信じきる

教祖がご在世当時、野良仕事が終わった近所の百姓達が、教祖のお住まいでお話を聞くのを楽しみにしていた時期があったそうです。

ある時、教祖が「この中で字の読める者はいますか？」と聞かれたそうですが、誰も手をあげる者はいなかったそうです。

しかし 10年20年後には、そこで話を聞いていた字の読めない百姓達が先生、先生と呼ばれた

立教187年
9月号
(通算第283号)

発行者
天理教生横濱分教会

そうです。

何故でしょうか？

なぜなら教祖のお言葉一言一言を信じ、信じ切ってお助けに回られた方々ばかりだったからです。

ある方は「朝起き、正直、働きやで」ある方は「結構、結構」と言って通りなされや」と言われただけで、笑われてもそしられても素直に通られた先生方ばかりです。

皆様も何回かお話を聞かれてご存知だと思います。子どもの時から教えを聞いていると、ど

の教祖のひながたを聞いても頭の中で分かっていて「知ってる知ってる」と思いがちですが、おとぎ話や昔ばなしではありません。

歴史的事実です！

頭で理解している事と、心に納めて信仰しているのでは信仰の意味が大きく変わります。

私自身、人生で大きな身上も事情も有りましたが、そのたびに信じきるといふ事を勉強させられた思いが致します。

それまでは道場の中で、竹刀を振り回し、我より強い者はいないと思っけて信仰していたのですが、いざ神様から真剣を渡され、悟り違えたら命が無いぞ、と言われるような病気になった時、自分自身では、どうにもな

らない事情になって初めて気付くような信仰では、本当の信仰をしているとは言えない気がします。

普段の生活で「受け取り方」「考え方」「思い方」のどこかが親神様、教祖、御霊様と差があったとしたら、自分自身の信仰は進まないし、人助けなどほど遠いと思います。

字は読めるし字も書ける。当時の百姓達から見れば、現在の信仰者は全員が学者です。

食べるお金がある、仕事で稼ぐことが出来る、天保の飢饉の時代に生きた人達からみれば、現代人は高山に暮らす人だと思います。

一生懸命信仰しているつもりでも、教祖から「学者高山あと回し」と言われないように、教

典も教祖伝も無い時代の先生方の信じ方、信じきり方を手本に、年祭を前に頭の信仰ではなく、心の信仰を勉強をしながらしてみよう。

真下育久

お知らせ

・全教一斉にをいがけデー

今月は「にをいがけ強調月間」です。また、28、29、30日は「全教一斉にをいがけデー」です。教会では随時、神名流しをさせていただきますのでどうぞご参加ください。

・本部秋季大祭団参

10月26日はご本部の秋季大祭です。教会でも車を出しますので、ぜひ一緒におちばに帰りませんか？

今月の予定

10月													9月				
11日	7日		6日	3日	1日			28日	26日	23日	22日	21日	16日		14日		11日
S																	
生横濱秋季大祭	比企宅講社祭	邦明宅講社祭	太田宅講社祭	生旭秋季大祭	みんなの食卓	御霊祭	にをいがけデー	30日	ご本部月次祭	大教会月次祭	康靖宅講社祭	雅敏宅講社祭	生田川月次祭	みんなの食卓	邦明宅講社祭	益元宅講社祭	生横濱月次祭

立教百八十七年七月月次祭祭文

親神様は人間が陽氣ぐらじめよろづの物を見て共に樂しみたい
私達が陽氣ぐらじめよろづの物をお造り下さり身の上事を
情を通じ無御礼申し上げて恩報じの道に勿体ない極み
に構へて夕に御申し上げご恩報じの道に勿体ない極み
そなたの一日柄にあたり合はすの名稱の理にお許し
定めの者同呼吸を合はすの名稱の理にお許し
参拝者になれる陽氣に勇んでつとめさせていた
眞剣に且つる陽氣に勇んでつとめさせていた
御前に子ども達の物を供え今日の心を樂しみに寄せて
道きます。真実の状をもお受け取り下さいます。親神様に
だきます。真実の状をもお受け取り下さいます。親神様に
去る四月二十三日、佐々木初菜の友人山下綾が初席を運
よせ席を重ねようとした。ありがとうございませう。願
い致し。猛威を振るつていた新型コロナウィルスが沈静
化して、二、三度の大規模な休業でも各所で大勢の人が決
し、あたりにニュー・ス・が報じてあり、人間がたいては、
慣れた下り、大が、で、この大が、で、人間がたいては、
く、忘れた。事なく、常に感謝の心で日々を通らせた。末
きた。祭りと存じ、大が、で、人間がたいては、
年、祭りと存じ、大が、で、人間がたいては、
だ、祭りと存じ、大が、で、人間がたいては、
何卒、この心定め、人だすけに、一杯通り切らせたい
その日まで、一手一つに心を揃え、勇んでお連れ通りたい
上げます。ようこそ、ご守護の程を一同と共に慎んでお願いし

祭主	扈者	賛者	指図方	献饌長	役割	地方	ておどり				笛	ちゃんぽん	拍子木	太鼓	すりがね	小鼓	琴	三味線	胡弓
会長	佐々木邦明	比企靖章	真下育久	佐々木邦明	座りづとめ	佐々木雅敏	会長	真下育久	佐々木邦明	会長夫人	前会長夫人	宮内千賀子	佐々木佑人	佐々木匡理	金子大信	比企靖章	佐々木和代	佐々木千鶴	勝田好子
	佐々木雅敏	佐々木崇徳			前	佐々木佑人	比企靖章	佐々木雅敏	佐々木崇徳	会長夫人	宮内千賀子	佐々木和代	佐々木匡理	真下育久	佐々木邦明	前会長夫人	会	佐々木千鶴	勝田好子
伝供	佐々木雅敏	比企靖章	佐々木崇徳	佐々木佑人	後半	会	佐々木佑人	佐々木匡理	金子大信	宮内千賀子	佐々木和代	佐々木千鶴	佐々木雅敏	真下育久	佐々木	比企靖章	佐々木崇徳	会長夫人	勝田好子

祭典役割

ご報告

・BBQ

8月月次祭の直会はBBQをさせていただきました。数年ぶりの催しで、どうなることかと思いましたが、とても楽しい時間が過ごせたと思います。来年も開催予定ですので、こぞってお越しください。



・なつまつり

8月17日は教会において、Kitchenあんぶれらを利用して「なつまつり」を開催しました。当日は子供たちが楽しく遊び、満足して帰っていく姿を見ることができ、とても有意義な時間となりました。



編集 後記

みなさんこんにちは。

やっと夜風が涼しく感じられるようになりました。

先月の月次祭は沢山の方が来られ、久しぶりにすべ

ての役割が揃っておつとめを勤めさせていただくことが出来ました。みんなでおつとめを勤め、直会をワイワイ囲むというのは、陽気ぐらしの一つのかたちだなあと改めて感じました。

今月の会報には、真下育久さんが原稿を寄せて下さいました。ありがとうございます。

神様のご存在やお言葉を信じ切られるようになるには何をしたらいいのか。おやさまのお言葉通りに行動しようとする中に、自然と神様の姿を見ることが出来るのだと思います。「願う心の誠から見える利益が神の姿やで」

佑人